

# 一般財団法人東海テレビ国際基金 2026年度事業計画(案)

(2026年4月1日～2027年3月31日)

国際理解促進のため、より有意義な事業を効率的に実施して、目的を達成するよう努める。

## 1. 自主企画事業 (定款 第4条第1項第3号)

### 【上期】

#### ① 「イッチー指さしコミュニケーションシート・イッチーファイル」

外国人居住者のための「多言語指差しシート」の中国語、ベトナム語、スペイン語バージョンとイッチークリアファイルを作成し配布する。「多言語指差しシート」は、表記されている会話や記号を指差すことで、日本人と外国人が簡単にコミュニケーションを図ることができるツールである。内容は、名古屋の名所・旧跡・観光地などを案内する「文化・観光編」と防災対策として非常時の行動などを解説した「災害・非常時編」の2種類とする。6パターンのシートはダウンロード式で、各シートを取り込むQRコードを表示したクリアファイルを1万枚作成する。配布先は、助成先を含めた国際交流団体や高校・大学、日本語学校などの他、留学生や在留外国人向けの施設や役所などを予定している。昨年度は英語、ポルトガル語、韓国語バージョンを配布した。  
予算は100万円。

#### ② 「多文化交流プログラム～音楽の力でミライを考える～」(1)

「音の表現の力」で学び体験する多国籍の学生の交流プログラムの実施

国際交流についての講義や、障害や国籍も関係なく、音の身体表現を通じて共生社会への取組みを続ける「ホワイトハンドコーラスNIPPON」から講師を招き、車いすや自閉症の子どもたちに音楽教育プログラムを体験してもらう。手、顔の表情や全身を使って音楽を表現する活動を学んだり、「手話」による心の表現を体験するとともに、音や音楽の力による心の繋がりを体験して、インクルーシブ社会におけるコミュニケーションの可能性を学ぶプログラムを展開する。東海地区で学ぶ、約15か国の高校生と東海地域の教育関係者約100名が参加予定。開催は6月4日。  
予算は120万円。

#### ※参加予定国

中国、ブラジル、ベトナム、アメリカ、イタリア、パキスタン、スリランカ、オランダ、ドイツ、エクアドル、ハンガリー、フランス、タイ、フィリピン、日本 等

※「ホワイトハンドコーラスNIPPON」

ろう者、難聴、全盲、弱視、車いすユーザーなど、多様なメンバーが所属しているインクルーシブな合唱団。南米ベネズエラで始まった、誰もが平等に音楽教育を受けられることができる音楽の社会活動「エルシステマ」の理念に共感して設立された。障がいの有無に関わらず、また経済的な状況に関わらず、誰もが無料で参加し、学ぶことができる。手話の表現で歌う（手歌）サイン隊と、声で歌う声隊がともに奏でる音楽は、可能性に溢れた未来世代の芸術創造である。

【下期】

「多文化交流プログラム～音楽の力でミライを考える～」(2)

15か国の高校生たち約100名が参加して「コミュニケーションの力」を語り合うプログラムをオンラインで実施する。上期のプログラムを経て、その後日常で得た気づきや体験を改めて講師や他校の学生らと共有し、インクルーシブ社会や国際的なコミュニケーションの在り方を語り合うことで、継続的な国際交流を実現する。

開催は12月中旬(予定)

予算は30万円。

上期・下期ともにイベント参加学生は、東海地域の多くの学校から参加。

国籍も学校も違う高校生が「音」の力、音を届ける形の多様性を通じて交流を図り、その経験を自分の学校やコミュニティへ持ち帰り、日常の中で更に考えや行動を広げること、更なる相互理解を広げていくプログラムを展開する。

## 2. 助成事業 (定款 第4条第1項第2号)

(1) 「まなぶば ふらっと」への助成

長久手市国際交流協会主催。外国人への対応を向上させるための協会ボランティアのスキルアップを目的とする。外国人の生活相談や防災訓練など多方面にわたる研修会を開催。日本語の教え方のスキルアップだけでなく、多文化理解の一助となる研修会へと発展させる。月に一度開催。協会ボランティアや一般参加者へ多文化共生の目的周知と啓発を続け協会活動を活性化していく。

(4月4日～2027年3月16日実施予定、予算4万円)

(2) 「鈴鹿国際交流フェスタ2026わいわい春まつり」への助成

鈴鹿国際交流協会主催。外国につながるのがある市民と日本人市民の交流促進を目的とする。各国の舞踊やダンス、キッチンカーによる外国料理の提供や民芸品の販売、各種ワークショップなどで地域内の相互理解を深め、国際協力、多文化共生を推進する。例年約3000人が参加で、日本人と外国人が半数ずつ。出身国は、ブラジル、フィリピン、スリランカ、ペルー、中国、韓国など約20か国。

(5月17日実施予定、予算10万円)

- (3) 「そだてよう、自然のこころ「未来をえがく小さな画家たち」への助成  
国際児童画協会主催。子供たちが描く「自然への感謝」と「未来への祈り」を介して、国際交流の促進とともに環境意識の向上を目的とする。アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカ・中南米・中東など世界各国の子供たちから「自然を守り育てる」をテーマにした絵画を募集・展示し、自然と共に生きる喜びや育ていつくしむ思いを表現した作品展を開催。  
(6月12日～18日実施予定、予算3万円)
- (4) 「産業革命と日本の近代化の歴史を学ぶ研修」への助成  
NPO知多から世界へ主催。中学生が「英語を学ぶ」、「英国の歴史文化を学び、日本とのつながりを考える」、「国民性、文化、生活習慣の多様性を知る」ことを体験して国際理解、国際感覚を高めることを目的とする。知多地域の公立中学校に在籍する1年生約20名を募集し、17日間のイギリスホームステイ及び学生寮による生活体験、語学研修のほか、課外研修・地元高校生との交流等、SDGsへの取り組みを行ってもらう。  
(7月25日～8月10日実施予定、予算13万円)
- (5) 「国際交流・国際協力・NGO入門講座の開催」への助成  
名古屋NGOセンター主催。市民一人ひとりの国際意識を深め、様々な社会的課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組める持続可能な社会づくりの担い手を育成することを目的とする。世界で起こっている様々な課題や問題をワークショップ形式で話し合うことで、参加者に自らの問題として捉えてもらい、持続可能な社会を作る担い手を育成する。年4回のべ120人が参加。  
(8月1日～2027年1月16日(計4回)実施予定、予算7万5千円)
- (6) 「2026年度CISV国際交流プログラム ビレッジ日本大会」への助成  
運営母体は、CISV日本協会東海支部。国際交流キャンプにより、青少年の健全育成を図るとともに、異文化・多文化の国の人々との親善友好を目的とする。世界8～10か国(2025年は、中国モンゴル・タイ・アメリカ・ドイツ・ノルウェー・チェコ・日本)から集まった11歳の青少年が集い、4週間の集団生活を体験する。学習やレクリエーションを通じて、人種・国籍を超えた友情を育み、国際平和に貢献する人づくりを行う。  
(7月26日～8月22日実施予定、予算 10万円)
- (7) 「第31回国際交流フェスティバル」への助成  
江南市国際交流協会主催。日本人と在住外国人の皆さんが文化の紹介・体験をして交流を深めることを目的とする。外国人の日本語学習者によるスピーチ大会やダンス、二胡の演奏などのステージ部門、外国人から海外の文化を学べる「外国の方のおしゃべりコーナー」や、外国の紙芝居の発表や民族衣装体験など、より充実

した国際交流・多文化共生を図る。

(8月23日実施予定、予算7万円)

(8) 「あいち国際女性映画祭2026」への助成

あいち国際女性映画祭2026運営委員会、あいち男女共同参画財団主催。国内唯一の国際的な映画祭。国内外の女性監督作品を中心に5日間、約40作品を上映予定。映画という親しみやすい素材を介して、女性の活躍促進や男女共同参画を目的とする。ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの理解を深め、映画の上映や女性監督のトークイベント、映画と連動したシンポジウムなどを開催し、映画文化による女性の社会進出を支援するとともに、男女共同参画や国際交流の理解を促進する。

(9月3日～7日実施予定、予算15万円)

(9) 「世界を遊ぼう！フレンドシップフェスティバル」への助成

一宮市国際交流協会、一宮市主催。市民の国際交流・国際理解の推進と啓発を図ることを目的とする。さまざまな客層が集まるイベントスペースで、在留外国人等による大人も子供も気軽に楽しめる各国のステージパフォーマンス、クラフト体験、民族衣装試着体験などを実施し、多文化共生を図る。

(9月26～27日実施予定、予算7万円)

(10) 「伊賀市国際交流フェスタ2026」への助成

伊賀市国際交流フェスタ2025実行委員会、伊賀市主催。伊賀市在住の外国人と地域住民との国際交流や多文化共生の相互理解を深めることを目的とする。毎年恒例のイベントとなっており、外国の食、物品の販売や外国と日本の音楽、舞踊のステージなどで楽しんでもらう。1500人を超える来場者が見込まれる。このうち外国人が約600人で、出身国は、ブラジル、ペルー、ベトナム、フィリピン、中国、ベルギー、キルギスなど約10か国。

(10月4日実施予定、予算15万円)

(11) 「シスターシティフェスティバル」への助成

名古屋市、名古屋姉妹友好都市協会主催。市民に姉妹友好都市の魅力を体感し、国際理解を深めてもらうことを目的とする。名古屋の姉妹友好6都市(ロサンゼルス市・メキシコ市・南京市・シドニー市・トリノ市・ランス市)の歌やダンスをステージで披露するとともに食文化、観光などをブースで紹介することにより姉妹都市への親しみや関心を持ってもらう。参加者は約1600人。

(10月17日～18日実施予定、予算20万円)

- (12) 「第44回全日本中国語スピーチコンテスト愛知県大会」への助成  
愛知県日中友好協会主催。中国語の普及や日本人中国語学習者の学習意欲向上に貢献し、日中友好の増進と国際理解を深める目的。朗読部門、スピーチ部門、それぞれ中高生の部・大学生の部・一般の部 で審査し、各部の1位を全国大会へ推薦する。アジア競技大会の開催などで国際理解、多文化共生の意識が高まる中、最大の隣国である中国との関係についても安定した友好関係を築いていけるよう意識を高める。  
(10月31日実施予定、予算7万円)
- (13) 「～平和・交流・共生のまち～とよはしインターナショナルフェスティバル2026」への助成  
とよはしインターナショナルフェスティバル実行委員会主催。市民と外国人が一堂に集い、国際交流、国際協力の在り方を考え相互理解を深めてもらうことを目的とする。各国の音楽演奏やダンス、日本語スピーチコンテスト、国際交流団体の紹介パネル展、世界文化体験、ワールドグルメ、フェアトレード・バザーなどを行う。参加者は、例年約5000人で外国人が約2000人。出身は、フィリピン、ウクライナ、コロンビア、ベネズエラ、ペルー、タイなど約15か国。  
(11月15日に実施予定、予算10万円)
- (14) 「多文化・多言語で楽しむ映像制作ワークショップ」への助成  
多文化子どもエデュ niho☆nico主催。外国にルーツを持つ子どもたち(国籍はベトナム、中国、フィリピン、ブラジル、日本の小学3年生から高校生約20名)が自分のコミュニティ以外の世界を知ったり、将来の自身のキャリアを考える機会を得ることを目的とする。日本人の高校生・大学生と一緒に「映像制作ワークショップ」を楽しむことにより、地域や年齢、国籍を超えた交流活動を体験してもらう。また交流のサポートを務める日本人の学生と地域住民にとっては異文化理解が促進される。  
(10月下旬～11月上旬実施予定 予算7万円)
- (15) 「人形劇でつなぐ多文化交流プロジェクト」への助成  
四日市市文化まちづくり財団国際交流グループ主催。人形劇という言語や年齢を超えて楽しめる芸術表現を体験して、皆がともに心を通わせる機会を創出することを目的とする。地域のベトナム、ブラジル、ネパール、中国、インドネシア等の30歳くらいまでの青少年たちと住民たち約100名が参加し、物語の世界を共有することにより、相互理解や共感を育み、多様な価値観を尊重する地域の風土を醸成する。  
(11月29日実施予定、予算5万円)

- (16) 「国際交流フェスタ「みんなでつなごう交流の輪」」への助成  
豊明市国際交流協会主催。外国人市民と日本人市民が一堂に会して、それぞれの文化を披露したり生活習慣などを話し、交流を深める。世界の踊りや音楽、多言語での絵本の読み聞かせ、スマイルカフェ、ゲーム等を行い、国籍、年齢問わず交流を図り、地域の中で共生していくためにお互いの理解を深める。  
(11月29日実施予定、予算3万円)
- (17) 「ワールド・コラボ・フェスタ2026」への助成  
ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会主催。市民、NGO、NPO、企業、行政等の協力により中部地域の国際交流、国際協力、多文化共生の活動を広げる。各国の歌や踊りの披露や楽器演奏のパフォーマンス、多文化共生のトークイベントなどを介して、「学び、考え、行動する場」をつくりあげる。昨年度の参加者は約62000人。外国人の出身国は、フィリピン、ベトナム、エジプト、トルコ、ウクライナ、中国、ネパール、スリランカ、アメリカ(ハワイ)、タヒチなど約20か国。  
(12月1日実施予定、予算20万円)
- (18) 「ワールドフェスティバル2026」への助成  
豊川市国際交流協会主催。地域在住の様々な外国籍市民や子供から大人まで幅広い年齢層の方々の参加で国際感覚を学び、「多文化共生を推進することを目的とする。世界のグルメ(7か国から30種類以上のメニュー)や舞台演奏、クイズラリーなどで、地域住民と外国人との交流を深め、相互理解と国際親善を深めることにより地域レベルでの国際交流、相互理解、友好の推進を図る。  
(12月6日実施予定、予算10万円)
- (19) 「いせ国際交流日本語スピーチ大会」への助成  
伊勢市国際交流協会、伊勢市観光文化会館ほかの主催。県内で暮らす外国人住民に日本語で発表する機会を提供するとともに、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促す。外国人住民の応募者15名がテーマに沿って意見を日本語で発表することで、日頃より日本語を学習している成果を発表する機会となり、観覧者にとっては外国人住民の価値観や視点を知る機会となる。  
(2026年12月～2027年2月実施予定、予算5万円)
- (20) 「小牧市国際交流ふれあいフェスタ」への助成  
小牧市国際交流協会主催。小牧市国際交流協会の1年の活動の集大成として、多種多様なプログラムを提供することにより、参加者の国際感覚の育成を促進する。各国の舞踊等の舞台発表やキッチンカーによる各国料理、着物の試着などの多種多様なプログラム体験で、日本人と外国人との国際交流の推進を図る。参加者は約500人。  
(2027年1月17日実施予定、予算20万円)

- (21) 「第17回東三河日本語スピーチコンテスト」への助成  
東三河日本語スピーチコンテスト実行委員会主催。東三河5市(豊橋・豊川・蒲郡・新城・田原)合同の実行委員会主催。5市から選出された外国人市民に日本語でスピーチができる機会を提供し、地域の多文化共生理解を深め、国際交流の推進を図る。また、各市のボランティア同士の交流も図ることができ、お互いを高めあうことができる。  
(2027年1月24日実施予定、予算10万円)
- (22) 「くむんだーワークショップinAustralia2027」への助成  
くむんだー郡上主催。継続的な日豪文化交流を育むため、現地との信頼関係を深め、文化交流の基盤づくりを目的とする。オーストラリア建築家協会やタスマニア大学などと連携しながら木製ジャングルジム(くむんだー)を用いたワークショップ等を実施。日本から輸送した”くむんだー”を組み上げたり解体する作業を通じて日本の木の文化、木造建築に触れてもらう。  
(2027年2月5日～9月実施予定、予算20万円)
- (23) 「国際交流デー」への助成  
大府市国際交流協会主催。大府市在住の外国人と地域住民の交流の機会を作るとともに、国際理解を深めていく。近隣地域で活躍するグループの多国籍ステージイベントや様々な文化体験、多国籍料理の提供や皆で楽しめるクイズやゲームの開催。参加者は約500人で、外国人が約140人。出身国は、ペルー、マレーシア、ベトナム、インドネシア、イラン、中国、韓国など10か国。  
(2027年2月7日または2月14日実施予定、予算8万円)
- (24) 「きよす国際交流まつり」への助成  
清須市国際交流協会主催。各国の遊びや日本文化を紹介して交流をしながら国際交流活動の進展を図る目的。県内在住外国人および留学生と市民で各国の演舞や日本の和太鼓の演奏などを行う。参加者は200～250人(うち外国人が60人～100人)。外国人の出身はネパール、中国、韓国、スペイン、ブラジル、ウクライナなど8～10か国。  
(2027年2月21日実施予定、予算10万円)

**助成事業費計 246万5千円**

**事業費合計 496万5千円**

以 上